



秋の御嶽山



冬の御嶽山



△	山 頂 (山岳名)
—	登山道
—	道 路 (路線番号)
—	川・沢 (川・沢名)
Ⓜ	登山届ポスト
🏠	山小屋等
⚠	危険情報
🚨	注意喚起情報
📏	火口域からの距離標識

余裕をもった計画をたてよう

- 山登りは朝からはじめ、明るいうちに下山するのが鉄則です。
- 天候が悪い、体調がすぐれないなど悪条件のときには無理に登らず、またの機会を待ちましょう。

出発前の準備と必要な装備

- 登山者は自己責任が原則です。事前にルートと天気、危険箇所、避難施設についてよく調べ、装備を整えてから登山しましょう。

☐ヘルメット☐飲み物☐雨具・防寒具

☐ヘッドランプ☐非常食☐帽子

☐ゴーグル☐救急用品☐手袋

☐地図☐緊急連絡票☐ホイッスル

☐コンパス☐無線もしくは携帯電話☐携帯トイレ

自分の名前や連絡先がわかる物

持ち物チェックシート

登山届を必ず提出しよう

- 登山届ポストや県、警察署などで提出しましょう。

山の中の危険に注意

- 山の中には崖など危険なところがたくさんあります。登山道から外れないよう注意しましょう。また、登山道であっても落石、倒木、スズメバチやマムシなどの危険が身の回りに潜んでいます。

スズメバチに出会ったら

ハチを刺激しないように迴りましょう。カチカチと音を立てて何匹も飛んでくる場合は近くに巣がある可能性があります。すみやかに引き返し立ち去りましょう。

気温や天候の変化

- 山岳地域では、急激に気温が下がる場合や天気予報で予測されない天候の変化があります。雲の様子や気温の変化、雷、風、視界などに注意しましょう。

急な増水

- 降雨時に河川や沢沿いを歩くときは、急激に水位が上昇するおそれがありますので、注意しましょう。

噴火や火山ガスに注意

- 何の前ぶれもなく噴火する可能性もありますので、常に火口付近の様子に気を付けましょう。
- 火山ガスは窪地や谷などに溜まっていることがありますので、絶対に立ち入らないでください。

御嶽山県立自然公園

御嶽山県立自然公園は、最高峰の剣ヶ峰(3,067m)、摩利支天(2,959m)、継子岳(2,859m) などがあります。頂上周辺には、一ノ池から五ノ池の5つの火口湖があり、エメラルド色の水をたたえ、また、山頂から濁河温泉周辺にかけては亜高山帯～高山帯の典型的な垂直森林帯を形成しています。御嶽山は古くから信仰の山として崇拝されており、御嶽講と呼ばれる信仰の登山参拝も見られるほか、山岳信仰と民間業は古くから密接に関係しており、山麓には多くの薬草が生息していたため、多くの胃腸薬があり、百草丸として親しまれています。

自然公園の利用上のマナー

自然公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守りましょう。

- 登山道からはずれないでください。
- 植物や動物をとらないでください。
- 野生動物本来の生態を守るため、餌を与えないでください。
- 入山前にトイレを済ませ、道中は携帯トイレの利用も考えましょう。

火山登山者向けの情報提供ページ

登山や観光をされる自然公園の多くには、活火山が含まれています。登山等される山が活火山であるかどうかを把握し、正しい知識を持つことが大切です。

御嶽山の活動状況

QRコード

URL https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/312.html

御嶽山の火山観測データ

QRコード

URL <https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/open-data/open-data.php?id=312>

噴火年代	現象	活動経過・被害状況等
1978～79 (昭和53～54)年	地震	5月～。王滝付付近で群発。活動のピークは1978年10月。最大地震は10月7日05:44M5.3。
▲ 1979(昭和54)年	水蒸気噴火 (中規模)	10月28日早朝。火砕物降下。噴火場所は剣ヶ峰(主峰)南斜面火口群。同夜におさまる。前噴付近まで降灰。山麓で農作物被害。噴出物の総量は約20数万トン。
1984(昭和59)年	地震、(山体崩壊)	9月14日、岩屑なだれ(御嶽崩れ)。場所は御嶽山南南東斜面。「昭和59(1984)年長野県西部地震(M6.8)」。御嶽山頂のやや南方に生じた山崩れは約10km流下して、王滝川に達するなど所々で大規模な崩壊。死者29名、住宅全半壊87棟等。地震活動は数年後にほぼ収まった。
▲ 1991(平成3)年	水蒸気噴火 (ごく小規模)	5月13～16日の間。噴火場所は1979年第7噴火口。4月20日山体直下で地震多発。以後6月まで時々地震多発。4月27日～6月微動多発。特に5月12～16日微動活発。5月20日の現地調査で、1979噴火の第7火口から火山灰を噴出した跡を確認。第7火口はこれまで噴火もなかった。
2006(平成18)年	地殻変動、地震、 火山性微動	12月中旬、わずかな山体膨張が始まる。12月下旬、山頂直下で火山性地震多発、火山性微動発生(以降、2007年3月まで消長を繰り返しながら継続)。
▲ 2007(平成19)年	水蒸気噴火	1～3月、噴火場所は79-7火口。1月16～17日火山性地震増加。3月16日噴火量増加(三岳黒沢の遠望カメラで山頂部に少量の噴気を確認)。以降、ごく少量の噴気が時々認められる。5月29日の現地調査で、79-7火口北東側約200mの範囲に79-7火口から噴出した火山灰を確認(噴火発生日は不明)。地震波等の研究から、御嶽山頂上へのマグマを侵入し(深さ4kmまで上昇)によって山頂直下の地震が発生。
▲ 2014(平成26)年	水蒸気噴火	9月27日11時52分頃噴火。噴火場所は剣ヶ峰の南西側。南西方向に火砕流が流下。27日11時41分頃から連続微動。これに先立つ9月10日から11日にかけて地震増加。これ以降2年間は噴火を要す。

観光情報

高山市 -takayama-

御岳自然休養林 胡桃島キャンプ場

岐阜県高山市朝日町(胡桃島)

標高1,850メートルの高所にある胡桃島キャンプ場。目前に雄大な御嶽山がそびえ、森林浴、バードウォッチング、美しい紅葉など、四季折々の魅力がダイナミックに満喫できます。充実した設備の整ったコテージも7棟あります。

- キャンプサイト 5月から10月 / コテージ 4月から10月 / オートサイト 6月から9月 ※新型コロナウイルスにより変更する場合があります。
- 入場料大人500円(小人300円)
- キャンプサイト1区画2,600円 / コテージ11,300円から
- 0576-62-3349 約60台(無料)
- JR高山駅より、車で約25分、国道361号経由80分

日和田高原ロッジ・キャンプ場

御嶽山の麓、白樺林に囲まれたキャンプ場。さわやかな夏のキャンプはもとより、高地トレーニング施設も充実しており、合宿などにも利用できます。

- 冬季休館
- センターロッジ(1泊2食)7,400円から
- フリーキャンプサイト1区画2,100円から
- 約20台(無料) 0577-59-2510
- JR高山駅より、車で約25分、国道361号経由80分

塩沢温泉七峰館

山奥の温泉館、そんな言葉がぴったりくる七峰館。飛騨川のせせらぎと、みどりの木々に包まれた温泉旅館です。(泉質：含二酸化炭素、ナトリウム・カルシウム、硫酸水素塩温泉)

- 年中無休
- 1泊11,000円から15,710円
- 入浴料：大人520円、小人310円
- 約15台(無料) 0577-59-2326
- JRスズカ野駅より車で30分

下呂市 -gero- 御嶽山の山小屋

御嶽山 飛騨頂上「五の池小屋」

濁河温泉登山口から約3時間45分かけて御嶽山を登ると、飛騨頂上(標高2,811m)に到達。飛騨頂上は360度のパノラマで、空気が澄んだ日には富士山や白山が一直線上に見える絶景スポットです。

その飛騨山頂「五ノ池」付近には、山小屋「五の池小屋」があります。ここは、飛騨側登山口9合目に位置し、神秘的なご来光や滝々と水を湛えたコバルトブルーの「三ノ池」、高山植物の宝庫である「四ノ池」の散策などの基点となる施設で、シーズン中は多くの登山者で賑わいます。

- 毎年6月1日から10月下旬
- 収容人数：80人
- 大人(中学生以上) 1泊2食：10,000円 素泊まり：6,500円
- ご予約先：090-7612-2458 (五の池小屋 業務専用携帯) <http://gonoko.jp/>

二の池ヒュッテ

2018年夏に二の池ヒュッテとしてリニューアルオープンしました。飛騨頂上から45分、剣ヶ峰から20分、御嶽山の真ん中に位置します。御嶽山北部の緑と南部の火山、両方の魅力を楽しめる場所です。小屋の前からは朝陽と夕陽が臨め、3,000m峰ならではの満天の星空が登山者を迎えてくれます。是非山中へお泊り頂き、御嶽山の魅力を堪能してください。

- 7月1日～10月中旬
- 収容人数：50人
- 1泊2食：9,500円 素泊り：6,200円(中学生以下1,000円引き)
- ご予約先：090-4368-1787(小屋直営) 090-2250-8008(営業時間外) <https://www.ninokihutte.com/>

下呂市 -gero-

濁河温泉

通年営業する温泉地としては、日本で最も高所に位置する温泉の一つであり、御嶽山への飛騨側登山口として登山者に利用されています。濁河温泉までの道中(県道441号線)は、御嶽パノラマラインと呼ばれ、御嶽山や日本一長い溶岩流が一望できるという絶景スポットです。初夏や紅葉の時期のドライブは特にオススメです。

- 0576-62-2570(県営小坂観光協会)

濁河温泉 市営露天風呂

御嶽山の中腹に位置する濁河温泉内にある市営露天風呂。男女別に分かれた大きな浴槽があり、泉質は炭酸水素塩泉。神経痛や動脈硬化症、高山症などに効果があります。この泉質、芬香を求めて遠方から濁河温泉を訪れる方が多くあります。また、登山者の下山後のリフレッシュとしても大変人気です。

- 4月下旬～11月上旬 9時～19時
- 大人600円、小学生300円 20台(無料)、大型バス不可
- 0576-62-3373(営業時間内) FAX 0576-62-5265

小坂の滝めぐり

小坂町は5m以上の滝が200箇所以上あり、その多くは御嶽山の過去2度の噴火による溶岩によって作られています。春は新緑の息吹を感じ、夏は五体を涼み、秋は赤や黄色に染まるふわふわの大地を踏みしめ、冬はかんじきで凍った滝めぐりなど四季折々にお楽しみいただけます。清流の飛沫が創りだす虹や野生動物に遭遇するなど五感を刺激する世界が待っています。＊滝めぐりのコースによっては、事前の手続きや予約が必要です。詳細はNPO法人飛騨小坂200滝までお問い合わせください。

ガイド(有料) 0576-62-2215(NPO法人飛騨小坂200滝) URL <https://www.osaka-taki.com/> (小坂滝めぐり)

御嶽山全域図

